

発掘新聞

2月8日号

平成25年復活第3号

編集・発行

九州歴史資料館

電話 0942-75-9575

古墳を取材して大コーフン!!

古墳裾から大甕やミニチュア土器などザクザク出土



上毛町皿山古墳群1号墳 古墳墓前祭祀跡発掘中

古墳石室入口横に大甕3個（底のみ）と器台やミニチュア土器など多数の土器などを用いた墓前祭祀を行っていました
|| 写真は当館撮影



祭祀に用いられた多数の須恵器の中に滑石製紡錘車（糸をつむぐ道具）を発見

出土状況や過去の調査例から、古墳墳丘前で食べ物や飲み物を須恵器に入れ、その祭りが終わった後にそれをそのまま遺棄した跡と考えられる。多くの古墳でこのような祭りは行っていたと思われるが、今回のように当時の祭りの様子を推測できるような状態で発見されることは少なく

貴重な例となる。また本古墳では、特徴的な古墳の築造過程が確認されており（左写真）、近日中にその土層の剥ぎ取りを行う予定である。
この様子も取材しますので、ご期待ください。（大庭孝夫記者）

現在、当館が発掘調査を行う上毛町皿山古墳群1号墳で、古墳の前で古墳に埋葬された人やその祖先などを祭った跡と考えられる遺構を、当館の齋部技術主査が発見した。この皿山1号墳は直径約2.5m、高さ約5mの大型円墳で、昨年12月から墳丘の調査を開始している。

墳丘の築造過程を探るため、土層の切り分け調査（最下段写真）を行っていたところ、横穴式石室入り口横の古墳墳丘裾部に、須恵器が多数発見された。大甕3個（上写真）を並べ、その前には器台、高坏、坏、ハソウなど多数の須恵器を置き、ハソウや壺などのミニチュア土器や滑石製紡錘車も出土した。



大甕の中にミニチュア土器の須恵器（ハソウ）を発見



名字が「齋部」だけに？

当館文化財調査室 齋部麻矢技術主査



齋部の「齋」は、「神聖な、忌み清めた」という意味があつて、私の祖先も祭祀に関わる人物であつたと聞いています。その私が古墳で今回のような古墳墓前祭祀跡を調査したことは、運命かもしれないですね（笑）。